

様式1

事業報告書

(自 令和4年11月1日 至 令和5年10月31日)

1 医療法人の概要

- (1) 名称 医療法人社団 秀樹会
- ① ☐ 財団 ☒ 社団 (☐ 出資持分なし ☒ 出資持分あり)
- ② ☐ 社会医療法人 ☐ 特別医療法人 ☐ 特定医療法人
- ☐ 出資額限度法人 ☒ その他
- ③ ☐ 基金制度採用 ☒ 基金制度不採用
- 注) ①から③のそれぞれの項目(③は社団のみ。)について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。(会計年度内に変更があった場合は変更後。)
- (2) 事務所の所在地 静岡県静岡市清水区鶴舞町4番12号
- (3) 設立認可年月日 平成元年7月3日
- (4) 設立登記年月日 平成元年7月4日

2 事業の概要

- (1) 本来業務(開設する病院、診療所又は介護老人保健施設(医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。)の業務)

種類	施設の名称	施設の医療機関コード	開設場所	許可病床数	
診療所	土川整形外科	2213210491	静岡県静岡市清水区鶴舞町4番12号	一般病床	床
				療養病床	床
				[医療保険	床]
				[介護保険	床]

- (2) 当該会計年度内に社員総会又は評議委員会で議決又は同意した事項
- | | |
|------------|------------------------|
| 令和4年12月27日 | 令和4年10月期決算の承認・決定 |
| 〃 | 剰余金処分の決定 |
| 〃 | 理事長の退任 |
| 令和5年10月31日 | 令和6年10月期の事業計画及び収支予算の決定 |
| 〃 | 令和6年10月期の借入金額の最高限度額の決定 |

様式2

法人名 医療法人社団 秀樹会
所在地 静岡市清水区鶴舞町4番12号

※医療法人整理番号				
-----------	--	--	--	--

財 産 目 録
(自 令和4年11月1日 至 令和5年10月31日)

1. 資 産 額	247,547千円
2. 負 債 額	11,456千円
3. 純 資 産 額	236,091千円

(内 訳) (単位:千円)

区 分	金 額
A 流 動 資 産	194,517
B 固 定 資 産	52,468
C 繰 延 資 産	562
D 資 産 合 計 (A + B + C)	247,547
E 負 債 合 計	11,456
F 純 資 産 (D - E)	236,091

(注)財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。			
土 地	(□ 法人所有 ■ 賃借 □ 部分的に法人所有(部分的に賃借))		
建 物	(□ 法人所有 ■ 賃借 □ 部分的に法人所有(部分的に賃借))		

式3-2

法人名 医療法人社団 秀樹会
所在地 静岡市清水区鶴舞町4番12号

※医療法人整理番号

貸 借 対 照 表
(令和 5 年 10 月 31 日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	194,517	I 流 動 負 債	11,456
II 固 定 資 産	52,468	II 固 定 負 債	
1 有 形 固 定 資 産	51,963	(うち医療機関債)	
2 無 形 固 定 資 産	390	負 債 合 計	11,456
3 そ の 他 の 資 産	115	純 資 産 の 部	
III 繰 延 資 産	562	科 目	金 額
		I 出 資 金	5,000
		II 積 立 金	231,091
		III 評価・換算差額等	
		純 資 産 合 計	236,091
資 産 合 計	247,547	負債・純資産合計	247,547

(注) 経過措置医療法人は、純資産の部の基金の科目の代わりに出資金とするとともに、代替基金の科目を削除すること。

様式4-2

法人名 医療法人社団 秀樹会
所在地 静岡市清水区鶴舞町4番12号

※医療法人整理番号					
-----------	--	--	--	--	--

損 益 計 算 書
(自 令和4年11月1日 至 令和5年10月31日)

(単位:千円)

科 目	金 額
I 事業損益	
A 本来業務事業損益	
1 事業収益	327,966
2 事業費用	228,564
本来業務事業利益	99,402
B 附帯業務事業損益	
1 事業収益	
2 事業費用	
附帯業務事業利益	-
事業利益	99,402
II 事業外収益	1,782
III 事業外費用	336
経常利益	100,848
IV 特別利益	-
V 特別損失	134,690
税引前当期純損失	33,842
法人税等	2,366
当期純損失	36,208

(注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。
2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。